



フェロモン剤 (交信攪乱用)

アルミゲルア・ダイヤモンド剤

コナガコン-プラス®

農林水産省登録 第22763号

(信越化学工業(株)登録)

性状：淡黄色澄明油状液体(ポリエチレン細管に封入)

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：1.5年

包装：50m巻×12、(20cm×100本)×40

有効成分：(Z)-9-ヘキサデセナル・・・2.0%
(Z)-11-ヘキサデセン-1-オール・・・1.0%
(Z)-11-ヘキサデセナル・・・48.7%
(Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート・・・39.2%

殺虫剤分類 **—**

コナガコン-プラス®は信越化学工業(株)の登録商標です。

特長

- コナガ、オオタバコガ及びヨトウガの成虫に対し、交尾行動を連続的に阻害して次世代の密度を抑制する性フェロモン剤です。
- 殺虫剤への感受性が低下したコナガ、オオタバコガ、ヨトウガにも有効です。
- 天敵に対する影響が少なく、IPMに適しています。
- 作物への残留の心配がありません。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用場所	使用目的	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	使用方法
コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等	コナガ、オオタバコガ、ヨトウガの加害作物栽培地帯	交尾阻害	コナガ オオタバコガ ヨトウガ	100~120本 (22g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間	作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て、支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し、圃場に配置する。
コナガ、オオタバコガが加害する農作物等	コナガ、オオタバコガの加害作物栽培地帯		コナガ オオタバコガ	20~40m (22g/20m製剤)		支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す。

使用上の注意事項

- 本剤は、コナガ・オオタバコガ及びヨトウガ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる密度抑制を目的としているので、対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的広範囲な地帯で使用してください。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用してください。
- 本剤は支柱等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。また、標準的な使用量は10アールあたり100~120本もしくは20~40mですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合があるので、諸条件から判断して、周辺部に多めに設置してください。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 設置の際、面積に応じてチューブを切断する場合は1m間隔でヒートシールされている部分を切断してください。
- 本剤は生分解性のチューブを使用しているので、土壌に接しないよう使用してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散するので、必ず使用前に開封し、なるべく使い切ってください。やむをえず残った場合には密封し、5℃以下で冷蔵保管してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 危険物第4類第3石油類に属するので火気には十分注意してください。
- 火気を避け、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

コナガコン - プラス技術情報

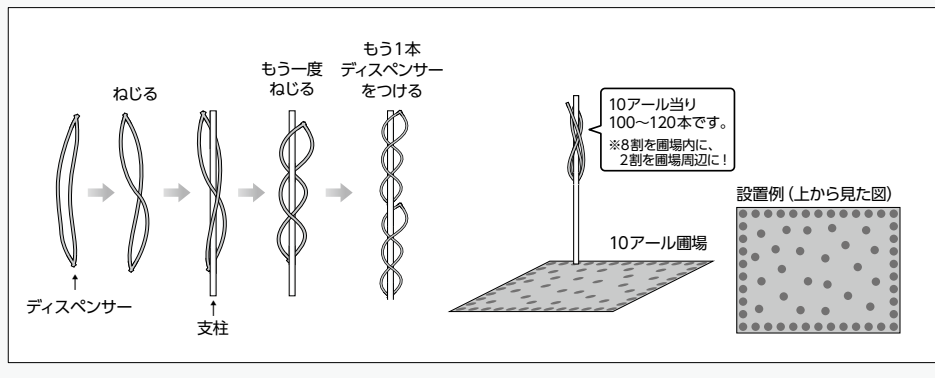
コナガコン - プラスの上手な使い方

- 対象害虫(コナガ、オオタバコガ、ヨトウガ)が圃場へ飛び込む前に設置してください。
- 設置面積が広ければ広いほど、効果的です。
- 本剤設置前に対象害虫の密度を低下させることを目的に殺虫剤を散布することをおすすめします。

ツインチューブ製剤

- ①作物の生育に支障のないように支柱棒(竹など)を立て、支柱棒にディスペンサーを巻き付けて圃場に設置してください。
- ②設置する高さは作物により異なります。作物よりも50cm程度高いところに設置してください。なお、作物の生育に支障のない高さにしてください。
- ③ディスペンサーは10アール当り100~120本とし、そのほぼ8割程度を圃場内に均等に設置してください。残りの2割程度を圃場周辺が多くなるように設置すると効果的です。
- ④ディスペンサーを支柱等に取り付ける方法は色々ありますが、主な取り付け方法は下記の通りです。

●網掛け法(ディスペンサー 2本 / 1支柱の場合)



ロープ状製剤

- ①畑の周りに約10m間隔で支柱を立て、支柱の間にロープ状製剤を固定します。
- ②設置する際は、作物よりロープ状製剤が高い位置となるようにしてください。
- ③10アール当り20~40mを設置してください。
- ④支柱等への取り付け方法は、右図を参考にしてください。

